

nature research

行動科学と社会科学に向けた
コミットメント





2011年創刊

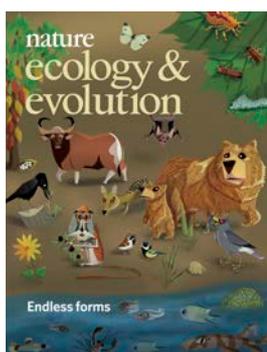
Nature Climate Change

nature.com/nclimate

地球の気候変動とその影響を解明することは、社会にとって重要な科学的課題の1つであり、自然システムの知識だけでは、この課題に取り組むには不十分です。あらゆる角度から気候変動の影響を理解し、解決策を考えて実行に移すには、人間の行動、その根底にある考えと姿勢、行動の変化を促す要因、そしてそれら全てが周辺社会にどう働くのかを考える必要があります。

Nature Climate Change は、気候変動という喫緊の課題に取り組むべく、様々なコミュニティを結集し、このテーマに関する全体像の提供を目指します。さらに、自然に関する重要かつ最先端の研究、地球の気候変動、根本的な原因やその影響、経済、政策、世界全体への影響について発表することに注力しています。

本誌は、原著研究論文のほかにも、Opinion（意見）や Analysis（分析）、Review（総説）といった論文を掲載して、一流の専門家が意見を交わすためのフォーラムにもなります。また、関連分野における最も重要な科学研究の進展を紹介する「リサーチハイライト」や著名な科学ジャーナリストによる特集記事も掲載します。



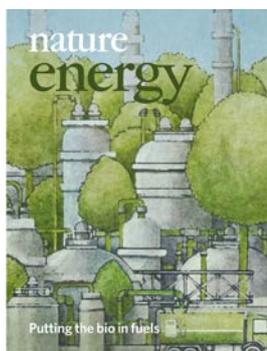
2017年創刊

Nature Ecology & Evolution

nature.com/natecolevol

Nature Ecology & Evolution は、生態学と進化の研究コミュニティのために2017年に創刊されました。生態学および進化生物学の全領域に目を向け、分子、生物個体、集団、群集および生態系のレベルでの研究に加えて、社会科学の関連領域も対象としています。

本誌は、生物の多様性のあらゆる側面に関心のある全ての研究者と政策立案者がともに、この分野の最も優れた重要な進歩について知り、関連する時事問題を議論するための場を提供します。



2016年創刊

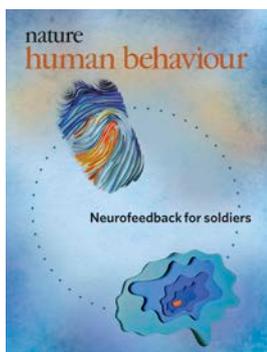
Nature Energy

nature.com/nenergy

社会が脱炭素化、環境衛生、エネルギーの合理的価格や安全保障といった課題に取り組むことで、エネルギーシステムの根本的な変化が起こりつつあります。エネルギー供給に関する決定には数年を要し、またエネルギー源の開発にはさらなる時間がかかる可能性がある状況のなか、どのように必要な変革を早急に達成し、需要と供給のバランスを取れば良いのでしょうか？

科学技術は間違いなく中心的な役割を担っていますが、技術を使いこなすのは人間でなくてはならない、という前提を忘れてはなりません。社会科学は、人間的側面からエネルギーの動力学と転換を理解する上で重要であり、国内外のエネルギー問題に取り組むには欠かせない要素です。

Nature Energy は、様々な科学技術の進歩から、エネルギー需要と社会的行動、規制改革と市場改革、そしてこれらの分野の相互作用に関する新たな洞察に至るまで、幅広いエネルギー問題の提示を目指します。



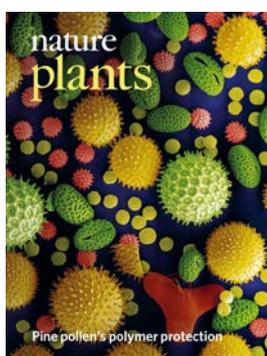
2017年創刊

Nature Human Behaviour

nature.com/nathumbehav

2017年1月に創刊された *Nature Human Behaviour* では、人間行動の解明に関する社会科学と自然科学の最先端研究を提供します。心理学、経済学、政治学、社会学、人類学、地理学、疫学、行動生態学、進化生物学、神経科学、精神医学、遺伝学、物理学、コンピュータサイエンスを含め、それらに限定されることなく、幅広い分野の研究を発表するこのジャーナルは、人間行動の記述、解説、予測、変革における大きな飛躍といえます。私たちは喫緊の社会的課題に取り組む研究はもちろん、2つ以上の学問分野の理論や方法を組み合わせた学際的で多分野的な研究も歓迎しています。

本誌は、原著研究論文に加えて、人間行動に関する研究分野全体をカバーする Review、Perspective、Comment、News、Feature、Correspondence も掲載します。



2015年創刊

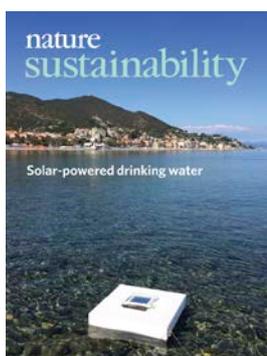
Nature Plants

nature.com/nplants

植物とその機能は、地球上の生命を支える基盤ですが、人間との関係は、しばしば見過ごされています。これに取り組むべく、*Nature Plants* は「植物と人間の相互作用」に関する多面的な研究を掲載します。

植物と人間の相互作用では、世界の植物相の生態系が人間社会の影響を受け、人間社会で利用されています。この種の研究に焦点を当てた主な分野には、食料安全保障、食料のアクセシビリティとアベイラビリティ、農業とアグロエコロジー、保全と生物多様性、エコロジー経済学と生態系サービス、都市の景観と緑地、遺伝子組み換え穀物を巡る社会的・政治的闘争、都市と田舎の境界地の活用、人間と植物の生態系の相互作用の回復力と適応能力などが含まれています。

本誌は、植物と人の相互作用に関する定量的研究や定性的研究に門戸を開くことで新しく豊かな洞察を提供し、この真に融合したシステムを探る生物学と社会科学の連携を強化します。



2018年創刊

Nature Sustainability

nature.com/natsustain

Nature Sustainability では、自然、社会、工学といった幅広い分野から持続可能性、政策面、解決策に関する重要なオリジナル研究を発表しています。人間活動の原動力やそれが環境や社会へ及ぼす影響に関する新たな研究のほか、地球上の生態系や人々の幸福を持続させるため、実現可能な解決策（テクノロジー、インフラ、制度）を提示する応用研究をまとめてご紹介します。

本誌は未発表の研究論文だけでなく、サステナビリティに関連するあらゆる分野から寄せられた Comment、Reviews、Perspectives、News & Views、Features、Correspondence を掲載します。

全ての Nature 関連誌は、専門のエディターからなる専任チーム、公正かつ厳格な査読プロセス、高水準の原稿整理と制作、迅速な出版、編集の独立性を特徴としています。



行動科学と社会科学に向けた Nature Researchのコミットメント

Nature Researchは、気候変動という差し迫った社会問題に取り組むには、人間の行動の基礎や人間社会の構造と変遷をより深く理解し、科学とテクノロジーの統合による発展が必要と考えています。Nature Climate Changeの創刊にあたり、2011年に、初めて社会科学のエディターを迎え入れ、同誌は現在、自然科学の論文はもとより、心理学、経済学、社会学、政治学、人類学の論文をも掲載して、より広いコミュニティへ視野を広げています。

また、Nature Energy、Nature Plants、Nature Sustainabilityの編集部にも経済学、政策、政治学、心理学、社会学のバックグラウンドを持つエディターが加入し、社会科学のコンテンツを大幅に拡充しました。

そして、2017年には行動科学と社会科学に対する私たちのコミットメントを反映して、Nature Human Behaviourを創刊し、様々な研究テーマの発表の場を提供しています。

社会科学分野には強い独自性があり、研究方法やアプローチがしばしば他の分野とは異なっています。同じ分野にあっても、定性的研究から解釈的分析、演繹的・定量的アプローチに至るまで、研究伝統は大きく異なります。研究者は、それぞれの分野のジャーナルで発表し、活動し、会議に出席するのが一般的です。ですが、私たちの最終目標は、あらゆる分野のコミュニティに役立つ情報を同じページ内で提供することです。研究者が従来の学問分野の垣根を超える時こそ、研究成果はより豊かで影響力のあるものになると考えるからです。

Nature Researchは、人間行動のあらゆる側面、その社会や環境との関係をより深く理解するためのサービスとして、社会科学と行動科学の多面的な研究支援をさらに広げてゆきたいと考えています。

Nature Research
Social Sciences 研究拠点センター長
Jenn Richler

機関向け無料トライアル受付中!

bit.ly/SNtrial

大学、企業、研究所など、法人のお客様は掲載のコンテンツを機関向けライセンスでご購読いただけます。お見積もり、ご購入方法やその他の詳しい情報については弊社にお問い合わせください。

お問合せ先
シュプリンガー・ネイチャー
インスティテューショナル・マーケティング
E jpmarket@springernature.com
T 03-4533-8091
F 03-4533-8081

